学校番号	111

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ｉで学んだことを基礎にして、さらに発展した表現や技法を学びます。
・絵画・デザイン・立体・鑑賞を学ぶうえで、「考える」ということを大切にしています。考え、試し、発見し、より良い作品をつくり続けることで、これまで学んできた内容や美術の経験をより深めていきます。
・他の人が制作した作品を鑑賞し、表現方法や考え方の違いを発見し、自らの世界を広げると共に豊かな感性を育みます。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 完成作品	制作途中の作品 制作の様子 完成作品	観察 ワークシート レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	鉛筆デッサン	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・体育館シューズのデッサン 体育館シューズモチーフに、鉛筆デッサンをする。立体的な表現をこころがけ、細部に渡って観察する。 ・相互鑑賞	◎	◎	◎	○ ◎	a:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:対象をしっかり見つめて、形や構造の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:デッサンの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。 d:他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の取り組む姿勢や表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	ワークシート 制作の様子 製作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート
	色のしくみを知る	【デザイン】 ・色彩学習 色相環・明度・色相・彩度およびトーンについてプリント学習する。 ・色彩構成 トーンの概念を理解し、指定された配色方法で制作する。	◎ ◎	○ ◎	○ ◎		a:色彩の原理を理解することや、その効果に関心を持ち、自分の意図や配色の計画を基に表現しようとしている。 b:条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:アクリル絵具やポスターカラーの特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 作品
	実践的なデザイン①	【デザイン】 ・ロゴタイプ制作 自分の名前をモチーフにロゴを制作する。 ・ピクトグラム制作 オリジナルのピクトグラムを制作する。	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	a:色彩学習で学んだ内容を活かし、配色・構成を計画的に実施している。 b:表現意図と形態・配色などが効果的に決められている。 C:計画に基づいて制作し、表現に相応しい技能を用いて制作している。 d:世の中で使われているロゴやピクトグラムを踏まえてオリジナルの表現ができている。	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 作品
	高校展鑑賞	【鑑賞】 ・大阪府高等学校美術・工芸展の鑑賞	◎			◎	a:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d:自校や他校の生徒の作品のよさや美しさ、作者の取り組む姿勢や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。	鑑賞ワークシート

2学期	実践的なデザイン②	【デザイン】 ・パッケージ企画書 コンセプトや設定を模索し、文章（文字）で記す。 ・お菓子のパッケージ制作 目的のあるデザインについて理解し、実践する。 社会におけるデザインを理解する。 人目を惹き、興味を持たせられるようデザインに工夫を凝らす。 視覚情報としてのデザインを学ぶ。	◎ ◎	◎ ◎	 ◎	○ ◎	a: 課題の意図を理解し、創造的な思考で企画書および作品の制作に向かっている。 b:オリジナリティある視点でコンセプトを立て、独創的かつ魅力的な制作に結びついている。 c:パッケージの概観デザインおよび形態に創意工夫が見られ、効率的な制作手順を実践している。 d:実際に販売されているパッケージに注目し、意図やコンセプトを読み取る。	企画書 アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート
	モデリング「空想の魚」	【彫刻】【鑑賞】 ・アイデアスケッチ 魚の基本的な構造・骨格等を示し、根拠のあるオリジナルの魚を創造させる。 ・塑像制作 スタイロフォーム・針金・紙粘土を素材として用い、カッター・木べらを使って塑像作品を制作する。 木製台と針金で空中に浮かせて泳いでいる様を制作する。 ・相互鑑賞	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎	 ◎ ◎	 ○ ◎	a:フォルムや量感を立体的に表現し、動きのある立体作品として表現するため主体的に取り組もうとしている。 b:制作の手順を理解し、構想した魚をいかに制作するか計画できている。 c:制作段階に応じた道具を選択し、段階を追って制作することができる。 d:他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の取り組む姿勢や表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート
3学期	学習発表会鑑賞	【鑑賞】 ・自校の学習発表会の展示・発表を鑑賞	◎			◎	a:生徒作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。 d:自己の感性や想像力を働かせて、作者の心情や意図と表現の工夫、主題と表現技法の選択や材料の活かし方などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。	鑑賞ワークシート
	絵画表現に迫る	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・静物モチーフの絵画表現 机上にモチーフを組み、観察を元に絵画表現につなげていく。 油彩画としてより発展的な制作を行う。 ・相互鑑賞	◎	◎	◎	◎	a:技法や画材、用具の特性や効果を主体的に活かし、表現方法を創意工夫して構想を練ろうとしている。 b：表現形式や技法の効果を活かし、主題に合った表現の構想を練っている。 c:油彩絵具の特性を活かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の取り組む姿勢や表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
　　c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。